



with U without C
あなたと一緒に、C型肝炎のない世界を。

世界肝炎デーSeminar

臨床検査技師が要となるウイルス性肝炎撲滅対策

日時：2024年7月24日(水)、31日(水) 18:30~19:00

Web配信：<https://qr.paps.jp/fh86e>



7月24日(水)

座長：尾城 啓輔 先生 慶応義塾大学病院 消化器内科 助教

講演1 (18:30~18:45)

久保田 典子 先生

武蔵野赤十字病院 感染管理室・肝疾患相談センター相談員/看護師長

『C型肝炎ウイルス検査結果通知の成果と取り組みの重要性』

講演2 (18:45~19:00)

古谷 弘一 先生 東京医科大学病院 中央検査部 技師長/副部長

『当院におけるHCV抗体陽性患者の拾い上げの取り組みについて』

7月31日(水)

座長：古市 好宏 先生

東京女子医科大学附属足立医療センター 検査科光学診療部 (内視鏡内科) 准教授

講演1 (18:30~18:45)

浅岡 良成 先生 帝京大学医学部附属病院 消化器内科 准教授

『C型肝炎治療の現状と症例の拾い上げの重要性』

講演2 (18:45~19:00)

中村 香代子 先生 順天堂大学医学部附属練馬病院 臨床検査科 技師長

『肝炎、肝がん治療における臨床検査技師の関わり』

後援：東京都臨床検査技師会 主催：アツヴィ合同会社

【A-connect 医療スタッフ向けページのお知らせ】



<https://a-connect.abbvie.co.jp/hepatitiscoordinator.html>

世界保健機関（WHO）は、2010年に世界的レベルでのウイルス性肝炎のまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消や感染予防の推進を図ることを目的として、7月28日を“World Hepatitis Day”（世界肝炎デー）と定め、肝炎に関する啓発活動等の実施を提唱しました。

肝炎ウイルスに感染しても治療せずにそのまま放置すると、より重篤な肝硬変や肝臓がんへ進行する可能性があります。日本の肝臓がんの原因の50%がC型肝炎と言われ¹⁾、年間約25,000人が肝臓がんによって亡くなっており、がんによる死亡数でも上位に入ります（2020年：5位）²⁾。

アッヴィは、世界保健機関（WHO）が掲げるグローバルレベルでの肝炎撲滅の実現にむけて、日本においても、一人でも多くの肝炎ウイルスに感染している患者さんが早期に検診と診断を受け、適切な治療により、肝硬変、肝臓がんへの進行を抑制することができるよう、啓発活動を続けております。

1. 一般社団法人 日本肝臓学会, 肝がん白書 令和4年度
2. 公益財団法人 がん研究振興財団, がんの統計2022, p15

登録URL

<https://qr.paps.jp/fh86e>

ウェビナーID : 936 9932 9920
パスコード : 922707



登録方法

ご視聴には事前に「Zoom」のインストール、もしくはアプリのダウンロード（無料）が必要な場合があります。

上記の登録URLへアクセス後、下記事項の入力をお願いいたします。
【 姓名・メールアドレス・ご施設名・職種 】
視聴用のリンクをご登録のメールアドレスに送信させていただきます。

視聴方法

後日配信メールに記載されている「**ここをクリックにて参加**」をクリック
次画面にて「**Zoom Meetingsを開く**」をクリックして視聴下さい。

お問い合わせ先：アッヴィ合同会社 初崎 英樹
hideki.hatsuzaki@abbvie.com 070-1315-5873